

REDDプラス 展開の鍵は何か？

ー現場活動から見てきた、REDDプラスの実践手法ー

Key to expand REDD-plus

- Approaches and Challenges for REDD-plus learned from practice in the field -

基調講演

奥田 敏統

広島大学大学院総合科学研究科 教授

平成30年2月7日(水曜日)

10:00～17:30 (開場 9:30～)

東京国際交流館 国際交流会議場

東京都江東区青海2-2-1

(ゆりかもめ「船の科学館」駅 徒歩3分)

日本語・英語同時通訳

参加無料

参加申込 (1月29日締切)

<https://business.form-mailer.jp/fms/a5a0646875141>



プログラム詳細

http://redd.ffpri.affrc.go.jp/events/seminars/2018/20180207_ja.html



お問い合わせ：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所REDD研究開発センター公開セミナー運営事務局
国際緑化推進センター(担当:佐野・森山) TEL：03-5689-3450 E-mail：redd-plus@jifpro.or.jp

主催：国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所

共催：ITTO、JICA、森から世界を変えるREDD+プラットフォーム

後援：林野庁、外務省、経済産業省、環境省、日本リモートセンシング学会、日本森林学会、日本熱帯生態学会、森林計画学会



日本熱帯生態学会
The Japan Society of Tropical Ecology



REDDプラス展開の鍵は何か？ ー現場活動から見てきた、REDDプラスの実践手法ー

Key to expand REDD-plus

- Approaches and Challenges for REDD-plus learned from practice in the field -

セミナー開催概要

REDDプラスは、第19回国連気候変動枠組条約(COP19)において、その実施に関わるモニタリング、セーフガード、資金等の技術面や政策面に関する基本的なルールが合意されました。さらに、COP21で採択されたパリ協定においては、REDDプラスの実施及び支援が推奨されています。こうした状況の中で、森林の生態系や生物多様性保全、地域住民の貧困削減等の観点も重視した“多様な効果を生むREDDプラス”への期待は高まりを見せ、現在、途上国各国がREDDプラス推進に取り組んでいます。今後、資金メカニズムの設計を含むREDDプラスの国際的な制度の設計・整備、また、民間セクターによるREDDプラス分野への参入を促すことが求められています。そうしたなか、こうしたメカニズムを下支えする様々な技術的な課題について、研究開発の成果を整理することは喫緊の課題です。

本国際セミナーは、途上国各国の条件に即した排出削減量の低コストな計測手法をいかに構築するのか、また、国全体の排出削減量において、地域レベルのREDDプラス活動をどのように評価するのか、といった課題に着目しつつ、今後のREDDプラスへの民間参画の一層の促進に向けた課題について議論します。

基調講演

奥田 敏統

広島大学大学院総合科学研究科教授
理学博士



1989年から2006年まで国立環境研究所・総合研究官、熱帯生態系保全研究室長、マレーシア森林研究所(FRIM)派遣協力研究員などを経て、2006年より現職。専門は森林生態学。これまでマレーシア、インドネシア、ミャンマーなどで生態系サービスからみたREDDの改良に関する実証研究や、熱帯域での地域社会による森林利用をふまえた、生態系保全と持続可能な発展に関する研究などに従事している。著書に「温暖化対策で熱帯林は救えるか 住民と森林保全の相利的な関係を目指して」(2017年)、「Pasoh: Ecology of a Rainforest in South East Asia」(編著、Springer)、「生物の集団と生態系」-「基礎生物学」(培風館・鷲谷いづみ監修/高橋純夫編)、「熱帯林破壊の背景・概要」-「化学便覧応用化学編第7版」(分担執筆・丸善出版)など。

プログラム

開会セッション

基調講演：REDDプラスの実践と今後の課題ー住民の便益と森林保全活動の両立を目指してー

奥田 敏統 (広島大学)

セッション1：各国の条件に即した排出削減量の計測と参照レベルの設定

Julian Fox (FAO)

Nguyen Dinh Hung (Forest Inventory and Planning Institute, Viet Nam)

鈴木 圭 (日本森林技術協会)

セッション2：地域におけるREDDプラス活動と民間参画

大仲 幸作 (林野庁)

Milagros Sandoval (Conservation International, Peru)

岡部 貴美子 (森林総合研究所)

パネルディスカッション：REDDプラスの展開に向けたこれからの課題と民間参画

奥田 敏統

Julian Fox

Nguyen Dinh Hung

鈴木 圭

大仲 幸作

Milagros Sandoval

岡部 貴美子

Gerhard Dieterle (国際熱帯木材機関(ITTO))

お問い合わせ 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 REDD研究開発センター公開セミナー運営事務局
国際緑化推進センター (担当：佐野・森山)

TEL : 03-5689-3450 E-mail : redd-plus@jifpro.or.jp

主催 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所